

F1 雌牛から受精卵移植で生まれた和牛子牛を譲渡

和牛と乳牛の交雑による F1 雌牛は和牛に比べ体格が大きく、泌乳能力も高いことから、受精卵移植の受卵牛^{*}として活用されています。

昨年度、府内産優良和牛の増産を目的に 20 頭の F 1 雌牛を導入し、和牛の受精卵移植を行い、全頭が受胎しました。現在、18 頭の子牛が生まれており、100 日齢を過ぎた子牛から順に府内和牛農家への譲渡を行っており、これまでに 9 頭を譲渡しました。譲渡先の農家からは「病気の心配も少なく飼いやすい」「せり市への出荷が楽しみだ」、などの評価をいただいています。

今後は、F1 雌牛の高い哺乳能力を活かし、2 卵移植による双子生産を行うこととしており、繁殖農家の妊娠しない牛を預かって妊娠させてお返しする預託事業と併せて府内産和牛増産に貢献していきます。

※受卵牛：受精卵を移植される雌牛



畜産センター
碓高原牧場